

医学系研究実施のお知らせ

医学系研究「登院実習前のシャドーイング演習による歯科衛生士の学びの効果」に関する 研究実施のお知らせについて

福岡医療短期大学では、専門職人材を育成するために教育課程の質を継続的に検証し、科学的根拠に基づく教育方法を検討する研究を行なっています。そのような教育系研究の一つとして、この研究も行われております。

このお知らせ文は、この研究の実施について皆様に知っていただき、研究内容を正しく理解していただくと同時に、研究参加者となられる方が研究不参加を望まれる場合にはその意思表示をしていただくためのものです。

なお、この研究は福岡学園倫理審査委員会の承認と、研究機関の長（福岡学園理事長水田祥代）からの許可を受けています。

1. 研究参加者となる方の条件

令和8年1月19日に「キャリアデザイン 第9、10回 病院演習、歯科衛生士の専門性の理解」を受講した方に参加いただきます。研究には受講後に提出したワークシートを用います。

この研究において、ご自身のワークシートが利用されることを望まれない場合は、お手数ではありますが、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

2. 研究の目的や意義について

福岡医療短期大学歯科衛生学科2年次後期に開講されている「キャリアデザイン」では、令和7年度より、大学病院における歯科衛生士業務の理解と、自らの目指す歯科衛生士像を描くことを行動目標として、シャドーイング演習を実施しました。シャドーイングとはロールモデルとなる歯科衛生士の業務に学生が影のように同行し、観察を通じて臨床判断や技術、態度を学ぶ教育手法です。3年次から始まる臨床実習に先立ち、このシャドーイング演習を実施することで、臨床現場の具体的なイメージの形や職業的アイデンティティの醸成を促す狙いがあります。

今回、演習終了後に学生が作成したワークシートの記述内容を分析することで、シャドーイングを通じた観察的学習が、上記の狙いに加えて、臨床場面に対する理解、コミュニケーション能力や状況判断力、実習に対する自己効力感、さらには実習前の不安や緊張の軽減といった側面にどのような影響を及ぼすかを検証できると考えました。

本研究はシャドーイング演習の教育的価値を多面的に評価し、歯科衛生士養成課程に

における実習前教育の改善に資する知見を得ることを目的とします。これにより、学生が臨床実習に円滑に適応し、実践的能力を効果的に育成できる教育プログラムの構築に寄与することを目指します。

3. 研究の方法について

この研究では、「キャリアデザイン」の、シャドーイング演習に参加した学生が作成したワークシートから、学籍番号・氏名を取り除いたうえで記述内容をテキストデータとして抽出し、分析に適した形式に整理します。ワークシートの自由記述内容について、テキストマイニングを用いて分類・抽象化し、シャドーイングによる学び、実習前不安の変化、臨床理解の深まりなどに関する記述をコード化し、カテゴリーを生成します。複数の研究者でコードの妥当性を確認し、信頼性を確保したうえで分析し、シャドーイング演習が登院実習前の不安軽減や、理解度、自己効力感、学習意欲に及ぼす総合的な教育効果を明らかにすることを目的とします。

使用するデータの範囲は、ワークシートの【印象に残った場面とその理由】、【自分の将来像について】、【学びになったことや気づき、感想】に記述した内容です。

この研究への参加は任意であり、辞退を希望する場合は、下記相談窓口の担当者連絡先まで、ご一報ください。

この研究への参加・不参加は科目や実習の評価、成績に一切影響を与えません。また、臨床実習へ影響を及ぼすことはありません。

4. 試料・情報の利用予定日について

この研究において研究参加者から得られた情報を、研究のために利用を開始するのは、2026年8月1日からが予定されています。

また予定されている研究期間は、2028年3月31日までです。この試料・情報がその期日を過ぎて利用されることはありません。

5. 試料や情報の管理について

この研究において研究参加者から得られた情報の管理責任者は、学校法人福岡学園の理事長・水田祥代です。

この研究において研究参加者から得られた情報および作成された〈削除情報等〉は、研究終了後、福岡医療短期大学歯科衛生学科において同分野講師 南レイラの管理の下、10年間保存した後、研究用の番号等を消去し、廃棄します。

また、この研究で得られた試料・情報は、将来計画・実施される別の医学研究にとっても大変貴重なものとなる可能性があります。その場合、前述の期間を超えて保管し、将来新たに計画・実施される医学研究にも使用させていただくことがあります。

・将来用いられる可能性のある研究の概括的な目的

：歯科衛生士教育における学習支援方法の改善に資する知見を得るため

- ・将来用いられる可能性のある研究の概括的な内容

：学生の学習過程や心理的变化に関するデータを分析して、教育方法の有効性の検討
 なお、そのような研究を行う際には、改めて倫理審査委員会において研究計画の倫理審査を受けます。承認されましたら研究計画について情報公開した後に研究を実施いたします。その際には研究計画の概要について下記で確認いただけます。

福岡医療短期大学ウェブサイトの臨床研究情報ページ

https://hs.fdcnet.ac.jp/about/release/clinical_research

6. 研究に関する情報や個人情報の開示について

この研究に参加してくださった方々の個人情報の保護や、この研究の独創性の確保に支障がない範囲で、この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧いただくことができます。資料の閲覧を希望される方は、ご連絡ください。

7. 研究の実施体制について

研究実施場所 (分野名等)	学校法人 福岡学園 福岡医療短期大学 歯科衛生学科
研究責任者	学校法人 福岡学園 福岡医療短期大学 歯科衛生学科 講師 南 レイラ

8. 相談窓口について

この研究に関してご質問や相談等ある場合は、下記担当者までご連絡ください。

事務局 (相談窓口)	福岡医療短期大学 歯科衛生学科 講師 南 レイラ 連絡先：〔TEL〕 092-801-0439 (内線 1559) 〔FAX〕 092-801-4473 メールアドレス：tomi@fdcnet.ac.jp
---------------	---

(作成日：2026年3月19日 最終修正日：2026年7月7日)